

第 27 表 特別法令違反事件検挙件数・人員

交通関係法令関係は除いてある。(注)昭和49年欄は、50年度年度の記載数値が誤りのため訂正

法 令	昭 和 50 年					昭 和 49 年		昭 和 48 年	
	総 数		本 部	大 阪 市 域 内	大 阪 市 域 外	総 数		総 数	
	件 数	人 数				件 数	人 数	件 数	人 数
総 数	10 345	9 458	106	6 957	3 282	10 713	10 105	10 953	10 268
銃 砲 類 取 締 法	136	121	-	104	32	179	159	136	128
犯 罪 取 締 法	1 300	838	40	808	452	1 217	780	1 190	802
刀 剣 類 取 締 法	680	315	-	626	54	863	427	1 012	568
防 銃 法	215	203	-	170	45	208	226	329	309
風 俗 取 締 法	338	62	11	318	9	307	98	253	111
外 国 為 替 及 び 外 国 貿 易 管 理 法	78	39	25	47	6	5	1	-	-
出 入 国 境 査 査 法	39	36	-	23	16	41	35	10	9
麻 薬 取 締 法	7	8	-	-	7	4	3	9	6
覚 醒 剤 取 締 法	4	9	-	3	1	-	-	17	14
出 入 国 境 査 査 法	1 460	963	10	1 029	421	1 010	698	1 562	975
管 理 引 取 締 法	118	120	-	108	10	192	185	145	142
出 入 国 境 査 査 法	3 777	3 647	-	2 440	1 337	4 417	4 188	4 296	4 075
火 災 防 止 法	71	61	-	29	42	64	45	43	32
火 災 防 止 法	288	40	16	196	76	216	22	202	40
火 災 防 止 法	92	106	-	59	33	65	58	122	114
職 業 安 全 定 規 法	32	23	-	31	1	46	48	43	69
職 業 安 全 定 規 法	108	35	-	55	53	159	45	222	41
職 業 安 全 定 規 法	101	280	-	62	39	117	337	98	342
職 業 安 全 定 規 法	1 318	2 394	4	716	598	1 453	2 607	1 114	2 358
職 業 安 全 定 規 法	140	136	-	114	26	132	129	122	119
職 業 安 全 定 規 法	43	22	-	19	24	18	14	28	14

資 料 大阪府警察本部総務課「警察統計書」

第 28 表 家出人捜索願出件数

本表は大阪府警察本部における捜索願の届出をまとめたものである。

職 業 ・ 年 齢	総 数	家 庭 関 係	学 業 関 係	事 業 関 係	疾 病 関 係	犯 罪 関 係	そ の 他
昭 和 47 年	9 849	3 884	377	1 048	732	91	3 717
昭 和 48 年	10 117	3 819	559	1 049	793	101	3 796
昭 和 49 年	8 961	3 752	555	619	807	78	3 150
昭 和 50 年	9 432	3 984	672	825	861	85	3 205
就 学 前 者	49	1	-	-	1	-	47
小 学 生	271	28	31	-	11	-	201
中 学 生	1 284	269	353	-	15	39	608
高 校 生	978	379	261	2	8	7	321
大 学 生	129	73	13	-	8	-	35
各 種 学 校 生	95	42	8	2	7	3	33
勤 務 者	1 052	532	1	132	48	13	326
徒 子 者	752	339	1	87	42	2	281
他 者	1 125	649	1	116	34	8	317
そ の 他	3 697	1 672	3	286	687	13	1 036
18 歳 未 満	3 039	840	607	58	58	56	1 420
18 歳 以 上 20 歳 未 満	735	349	54	50	27	3	252
20 歳 以 上 60 歳 未 満	5 034	2 718	11	504	562	26	1 213
60 歳 以 上	624	77	-	13	214	-	320

資 料 大阪府警察本部総務課「警察統計書」

第 24 章  
災害および事故

## 第24章 災害および事故

### 水稲被害

昭和50年の水稲被害面積は10,900ha被害量7,800t又被害率は17.4%とやや昨年(15.8%)を上回っている。本年の水稲被害の特色は、風水害が前年の650tから954t(46.8%増)・虫害が前年の3,560tから4,310t(21.1%増)と増加している。又逆に干冷害は前年114tあったものが皆無となっている。

全体的には、被害面積で対前比35.1%5,900haの減少、被害量では対前年比8.3%600tの増加である。

### 交通事故

昭和50年中の本府内における交通事故(人身事故)は、発生件数3万1,630件、死者数433人、傷者数4万989人を記録した。これは、全国の交通事故発生件数(47万2,938件)の6.7%、死者数(1万792人)の4%、傷者数(62万2,467人)の6.6%となっている。

つぎに49年中に比べると、発生件数では、-759件(2.3%減)、死者数では-81人(15.8%減)、傷者数では、-1,970人(4.6%減)となっており、発生件数および傷者数は昭和45年以降連続、死者数については昭和48年から3年連続して、いずれも減少を示した。特に死者数433人は、昭和28年の422人以来22年ぶりの最少死者数を記録した。

事故発生件数を、主原因者となった第一当事者別にみると、車両等が2万8,606件(件数構成比90.4%)で圧倒的に多く、車種別では普通乗用1万1,679件(同36.9%)、普通貨物7,694件(同24.3%)、軽四輪貨物2,112件(同6.7%)、軽四輪乗用1,366件(同4.3%)、特定大型(大型を含む)貨物681(同2.2%)の順となっているが、「普通乗用」・「普通貨物」で1万9,373件となり、全体の61.2%を占めている。

また、自動車以外では歩行者3,024件(同10.2%)、原動機付自転車(1種、2種計)1,452件(同4.6%)、自転車1,568件、(同5.0%)となっている。

事故発生形態を法令違反別にみると、車両関係(2万8,606件)では、わき見運転28.0%、徐行違反6.0%、

右折違反5.8%、一時停止違反、信号無視、安全運転義務違反などの順になっている。歩行者関係に(3,024件)については、「とび出し」1,715件(同56.7%)と例年最も多く、ついで「車の直前直後の横断」、「信号無視」、「路上遊戯」などの順になっている。

一方歩行者の事故は、発生件数5,638件で全事故に対する構成比は17.8%、死者数122人(同28.2%)、傷者数5,793人(同14.1%)となっており、昭和43年以降、件数・死者数・傷者数は下降線をえがいている。

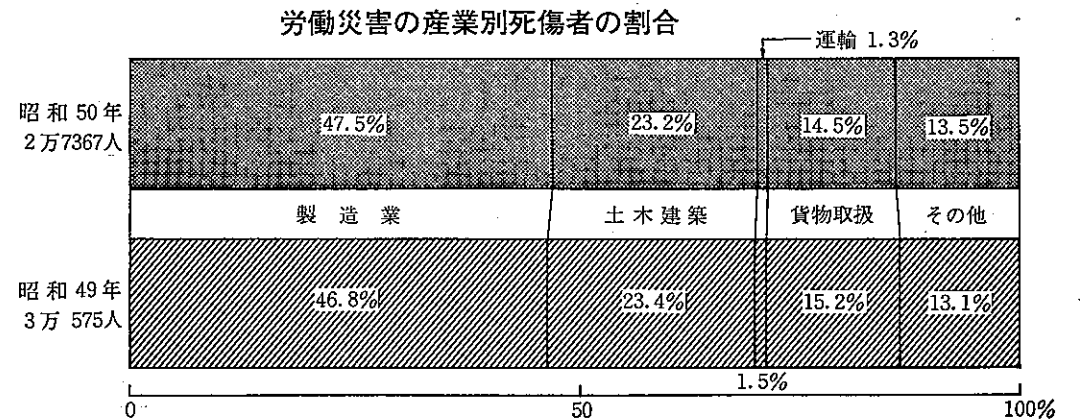
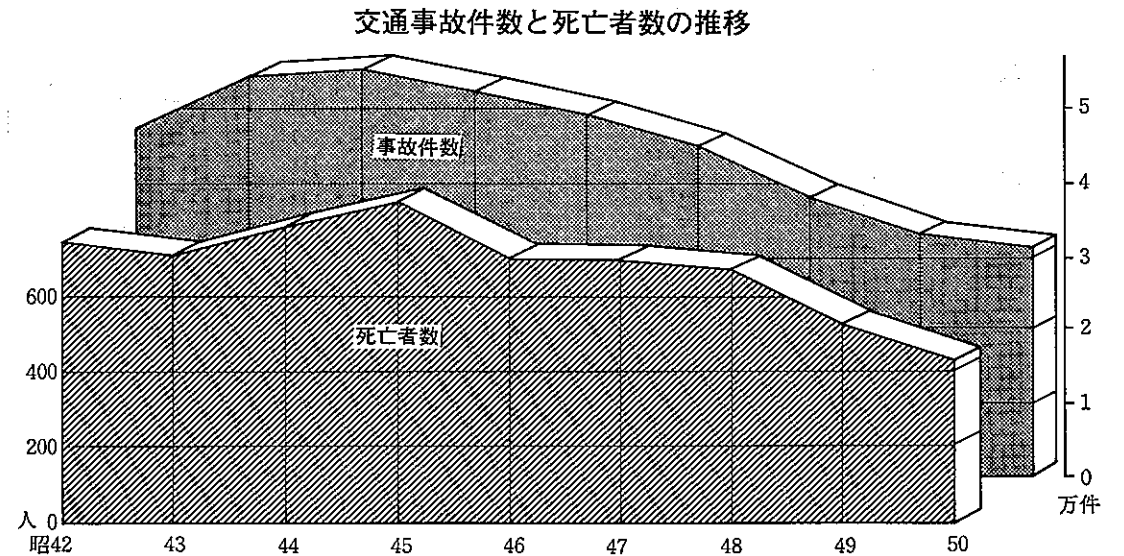
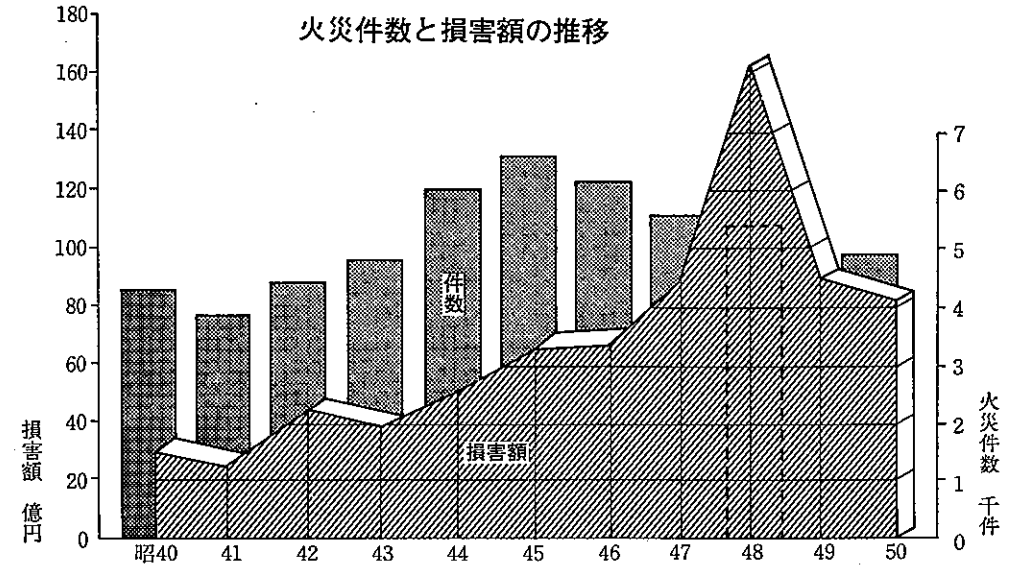
### 火災

昭和50年度中本府内の火災件数は、4,938件で、前年度の件数(5,353件)を415件(7.8%)下回った。損害額では、82億3,490万円(前年比5.6%減)、死傷者では、771人(うち死者87人)で、昨年より53人減になった。1日平均にすると、約13.5件の火災が起き、約2,256万円損害し、約2.1人の死傷者が出ていることになる。

市町村別にみると、大阪市の1,813件(件数構成比36.7%)がトップで、堺市518件(同10.5%)、豊中市317件(同6.4%)、東大阪市299件(同6.1%)の順になっている。

月別では、3月704件(同14.3%)が最も多く、最少月の10月308件(同6.2%)の約2.3倍になっている。

火元用途別にみると、火種の2,265件が最も多く、前年度2,482件より8.7%減、次いで、ガス・油類関係1,345(5.1%減)、電気関係465件(16.4%減)となり、火種の内では、裸火340件(19.0%減)の減少が著しい。



第 1 表

農 業

(1) 水 稻 被 害 面 積

数値の合致しないものはラウンドしたためである。

年 次	総 数		
	被 害 面 積	被 害 量	被 害 率
昭 和 46 年	28 500	10 600	19.8
47	22 300	6 920	14.0
48	18 300	6 980	15.3
49	16 800	7 200	15.8
昭 和 50 年	17 300	7 800	17.4

資 料 近畿農政局大阪統計情報事務所調

(2) 府 県 別 主 要 農

この表は、主要農作物についての収穫期における定期調査の結果である。被害種類はおもなものを掲げた。

都 道 府 県	水 陸 稲					
	水		陸		稲	
	面 積	被 害 量	面 積	被 害 量	面 積	被 害 量
昭 和 49 年	3 481 000	1 124 000	471 500	181 500	277 200	129 700
北海道	17 300	3 630	6 110	1 290	703	475
青森	46 971	27 693	2 967	2 527	27 831	18 350
岩手	82 609	36 949	2 346	589	9 047	4 666
宮城	165 243	76 797	10 632	4 709	46 956	11 070
秋田	77 188	26 839	3 275	1 601	27 216	7 937
山形	114 718	47 720	22 608	12 201	18 902	11 232
福島	136 712	75 518	6 798	2 222	28 752	16 664
茨城	108 490	68 480	29 990	21 716	6 372	3 394
栃木	150 170	96 690	20 467	9 239	3 201	2 421
群馬	76 390	31 455	4 166	2 132	16 111	5 198
埼玉県	143 880	35 275	13 899	4 241	7 257	1 593
千葉県	39 555	25 331	19 089	13 921	5 305	3 847
東京都	1 511	286	38	6	-	-
神奈川県	11 119	2 464	1 910	132	241	89
新潟県	125 586	28 014	24 000	5 000	15 734	4 967
富山県	38 802	9 410	16 200	4 030	122	41
石川県	31 200	6 650	8 660	2 420	382	239
福井県	39 300	8 000	9 300	3 080	80	40
山梨県	13 649	8 967	80	26	4 204	3 491
長野県	99 612	40 803	2 230	1 150	23 433	16 420
岐阜県	104 042	28 242	8 729	2 696	1 060	1 210
静岡県	69 454	22 383	9 356	3 393	468	271
愛知県	108 326	22 426	20 929	5 057	278	414
三重県	137 808	27 217	17 964	8 878	500	75
滋賀県	62 702	14 500	2 081	993	5	5
京都府	26 800	5 680	2 620	675	35	16
大阪府	16 800	7 200	2 620	650	103	114
兵庫県	133 000	37 000	14 500	6 400	72	69
奈良県	37 910	14 901	714	563	184	50
和歌山県	48 500	10 700	4 340	1 100	46	17
鳥取県	24 113	5 971	1 440	502	271	153
島根県	38 000	12 000	4 980	2 270	1 384	749
岡山県	138 934	22 409	31 908	6 655	2 772	1 092
広島県	43 103	10 300	9 162	3 500	2 429	1 063
山口県	23 000	7 320	1 050	302	135	118
徳島県	54 680	14 027	11 362	3 132	271	121
香川県	65 700	17 300	16 100	5 420	539	538
愛媛県	85 914	21 500	23 702	12 200	286	134
高知県	62 802	21 600	14 301	8 540	285	48
福岡県	145 408	27 501	5 360	713	4 763	2 050
佐賀県	81 202	16 000	2 720	567	576	252
熊本県	31 942	11 590	3 962	1 690	2 481	258
大分県	108 720	23 892	22 650	4 484	3 752	2 485
宮崎県	57 856	17 043	5 127	2 475	6 999	2 802
鹿児島県	117 980	24 918	13 950	2 447	3 115	1 370
沖縄県	136 600	23 980	14 860	3 700	2 441	2 103
	213	130	176	91	-	-

資 料 総理府統計局「日本統計年鑑」

被 害

お よ び 被 害 量

風 水 害	干 冷 害	病 害	虫 害	そ の 他
1 540	4 580	2 610	1 640	215
2 780	48	1 800	2 050	235
1 280	425	1 620	3 270	375
650	114	2 620	3 560	258
954	-	2 340	4 310	196

作 物 被 害 状 況

病 虫 害	麦 類 (小 麦 大 麦 裸 麦)						
	総 数		風 水 害		病 虫 害		
	面 積	被 害 量	面 積	被 害 量	面 積	被 害 量	
2 678 000	799 300	141 900	71 800	15 700	10 200	32 300	6 300
10 272	1 788	12 340	8 967	1 330	872	3 270	989
16 063	6 788	238	79	-	-	183	48
70 073	31 634	1 949	808	153	43	339	59
104 983	60 531	736	324	145	38	148	44
46 005	17 008	2	1	-	-	-	-
68 071	23 142	13	2	-	-	2	0
98 074	56 013	5 539	2 214	1 853	811	1 229	245
70 511	42 317	17 745	15 395	2 201	3 654	1 543	563
126 046	84 774	15 339	8 951	1 380	848	4 015	1 484
53 021	23 524	15 077	6 934	2 809	1 353	2 369	730
119 442	28 774	9 590	4 402	576	116	2 158	265
14 852	7 153	4 460	4 872	914	1 538	813	192
1 228	249	174	47	1	0	7	0
7 253	1 930	1 201	286	2	0	286	26
84 032	17 725	19	3	-	-	14	2
21 281	4 876	3	1	-	-	-	-
21 930	3 959	1	0	-	-	-	0
29 700	4 810	5	0	-	-	5	0
9 107	5 326	909	701	-	-	176	44
66 406	21 762	1 158	429	117	71	109	28
93 490	24 092	239	59	11	1	140	23
58 963	18 643	381	57	-	-	132	5
86 484	16 848	459	153	5	0	148	20
117 819	17 937	634	96	33	0	200	11
59 801	13 010	409	263	26	17	59	6
23 560	4 640	11	2	-	-	5	0
12 930	6 180	-	-	-	-	-	-
116 900	29 950	475	256	-	-	64	11
36 808	14 161	40	1	1	-	26	0
43 100	9 310	15	3	-	-	9	1
22 290	5 314	12	2	-	-	7	0
31 330	8 800	36	9	-	-	13	0
103 618	14 441	1 589	497	124	22	388	30
30 511	5 460	131	9	10	1	18	1
21 350	6 671	178	68	0	0	111	13
43 039	10 784	3 619	1 361	396	106	525	58
49 000	11 370	3 741	1 024	178	46	1 813	148
59 409	8 870	3 108	680	192	48	1 345	114
48 201	13 010	98	15	13	4	81	11
134 604	24 491	5 589	2 249	-	-	1 971	110
77 741	15 110	12 662	4 284	686	142	831	92
25 434	9 648	2 001	825	333	86	439	107
82 168	16 644	7 625	2 728	221	29	2 511	374
45 205	11 286	2 636	1 189	19	10	606	158
100 360	20 790	7 689	1 117	1 589	301	3 487	260
114 960	17 657	2 066	347	341	48	728	65
25	26	-	-	-	-	-	-

第2表

市町村別火災件数

本表は各年中の数字であり、火災発生後各消防署の現場調査により作成した報告書を集計したもので、消防署のな

Table with columns for City/Town/Village, Fire Type (Total, Building, Forest, Vehicle, Ship, Other), Building Count (Total, Half, Partial), House Burned Area, and Mountain/Forest Burned Area. Rows include various municipalities like 昭和46年, 昭和50年, etc.

資料 大阪府生活環境部消防防災課「大阪府消防統計」

罹災世帯数・金額等

い町村については、当該管轄町村役場から消防救助課に提出された調査票の集計結果である。

Table with columns for Affected Households (Total, Half, Partial), Disaster Personnel, Damage Amount (Total, Building, Contents, Forest, Vehicle, Ship, Other), and Deaths/Injuries (Total, Deaths, Injuries). Rows include various municipalities like 1 563, 1 233, etc.

第3表

火元・用途

本表は、各年中のもので、火災発生後各消防署で作成された報告書をまとめたものであり、本表分類は、火災報告取扱要領（昭和43

区分	総数	電気による発熱体					ガス・油類を燃料とする道具装置			まき・炭を燃料と	
		総数	電熱器関係	電気器具関係	電灯・電話配線器具	その他	総数	都市・プロパンガス関係	油類関係	その他	総数
昭和46年	6 141	651	257	106	203	85	1 491	983	263	245	...
47	5 623	679	246	190	209	34	1 601	1 206	308	87	159
48	6 258	647	315	159	173	18	1 641	1 267	291	83	165
49	5 353	556	243	146	152	15	1 417	1 127	223	67	116
昭和50年	4 938	465	168	141	143	13	1 345	1 040	228	77	100
建物小計	3 505	369	158	115	83	13	1 257	1 006	185	66	81
専用住宅 共用住宅 複合住宅	1 265 597 64 2	95 51 9 -	48 31 5 -	29 14 3 -	16 4 1 -	2 2 -	634 257 6 -	550 234 5 -	54 20 -	30 3 1 -	45 3 2 -
居住農林業 住鋁工 住住商 住サ一ビ	19 103 349 70	3 12 40 13	2 4 14 8	- 6 15 2	1 2 11 3	- -	5 18 128 28	1 7 100 19	3 11 22 7	1 -	- 1 5 1
居店工 住務 の他所 の他所	20 67 118 408	2 7 18 84	- -	- 1 11 23	2 5 6 26	- 1 -	7 16 33 91	3 10 25 34	3 5 7 45	1 1 1 12	- 1 1 11
倉庫研養 究蓄	219 21 2 7	18 -	10 -	4 -	4 -	- -	12 2	6 1	2 -	4 1	7 -
劇旅館ホテ 場ル校院	1 28 50 8	- 3 6 1	- 1 2 1	- 2 2 -	- -	- -	- 3 3 4	- 2 2 1	- 1 1 2	- -	- 1 1 -
遊浴神 技殊 の他	16 5 15 20	1 -	- -	1 -	- -	- -	1 2 3 3	1 -	- 2 -	- 1 -	- -
そ複延 合の用 他途焼	9 11 11	- 3 1	- 2 -	- 1 1	- -	- -	- 1 -	- 1 -	- -	- -	- 1 -
建物以外小計	1 433	96	10	26	60	-	88	34	43	11	19
林車船航そ 空の 野両船舶機他	118 322 5 -	- 48 2 -	- -	- 7 -	- 41 1 -	- -	1 38 -	- 2 -	- 34 -	1 2 -	- 2 -
	988	46	9	19	18	-	49	32	9	8	17

資料 大阪府生活環境部消防防災課「大阪府消防統計」

別火災件数

年11月)による。昭和46年中の a) その他はガスもれ、ガソリン、石油類、塗料、溶剤、動植物油、弄火、放火を含む。

石炭(コークス)する道具装置 炭・たど ん・まき 関係	その他	火種 (それ自身発火しているもの)				高温の 固体	自然発火や再燃を 起しやすい物		危険物品	天災	a) その他 (不明火 を含む)	
		総数	裸火(器に 入っていない もの)	たばこ マッチ	火の粉		その他	酸化・湿気 ・油類関係				再燃関係
127	...	...	568	1 172	40	...	164	4	47	91	22	1 625
145	14	2 440	399	1 860	100	81	124	14	45	52	12	497
148	17	3 035	567	2 307	84	77	132	21	36	68	4	546
111	5	2 482	420	1 914	96	52	100	9	32	32	9	600
93	7	2 265	340	1 783	83	59	98	16	26	35	24	564
75	6	1 216	84	1 058	35	39	71	15	21	13	10	452
42	3	327	29	283	13	2	17	1	10	3	3	130
3	-	236	8	228	-	-	-	-	1	-	1	48
2	-	36	-	35	1	-	-	-	2	-	-	9
-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	6	-	6	-	-	-	1	-	1	-	3
1	-	48	2	42	3	1	-	4	-	-	-	20
5	-	124	5	114	4	1	4	1	1	2	1	43
1	-	16	1	15	-	-	3	-	1	-	-	8
-	-	9	1	8	-	-	-	-	-	-	-	2
1	-	24	1	22	-	1	2	1	-	-	2	14
1	-	40	1	38	-	1	2	-	1	1	-	22
9	2	107	11	58	8	30	37	4	1	2	3	68
6	1	120	16	97	5	2	2	3	4	1	-	52
-	-	13	1	11	-	1	2	-	-	-	-	6
-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	18	-	18	-	-	-	-	-	1	-	3
1	-	30	1	28	1	-	-	-	-	1	-	9
-	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	13	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	4
-	-	11	1	10	-	-	1	-	-	-	-	3
-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4
1	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2
-	-	10	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-
18	1	1 049	256	725	48	20	27	1	5	22	14	112
-	-	103	25	69	7	2	1	-	-	3	-	10
2	-	180	13	157	1	9	19	-	-	5	-	30
-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	1	764	218	497	40	9	7	1	5	14	14	71



第 5 表

交通事故の当事

1) 事故件数は人身事故件数である。2) 第一当事者とは事故の主たる原因者、第二当事者とは事故の従たる原因者である。

区 分	総 数	第 一 当 事 者										
		乗 用 車					貨 物 車					
		バス	マイクロバス	普通	軽四輪	特定大型	大型	普通	三輪	軽四輪	軽三輪	
昭和49年	(件数)	32 389	562	52	11 787	1 544	546	238	7 925	35	2 049	3
	(死者)	514	1	-	185	21	35	1	116	1	20	-
昭和50年	(件数)	42 959	779	71	17 109	2 181	785	376	10 707	40	2 552	4
	(死者)	433	6	-	142	19	35	-	85	7	19	-
乗用車	(件数)	10 239	50	4	4 124	381	188	58	2 175	5	387	-
	(死者)	61	-	-	13	2	2	-	2	1	-	-
貨物車	(件数)	15 878	79	6	7 384	677	325	100	3 588	6	651	-
	(死者)	58	-	-	13	4	4	-	10	-	1	-
二輪	(件数)	5 487	27	6	1 429	126	165	46	1 400	3	194	-
	(死者)	58	-	-	13	4	4	-	10	-	1	-
特殊	(件数)	7 601	48	9	2 327	212	259	62	2 206	4	304	-
	(死者)	48	-	-	9	2	2	-	206	-	304	-
路面電車	(件数)	3 699	11	2	1 522	212	40	8	968	5	328	2
	(死者)	31	1	-	11	1	4	-	6	-	4	-
当 事 者	(件数)	4 145	10	2	1 690	245	39	8	1 037	7	366	2
	(死者)	10	-	-	4	-	1	-	2	-	1	-
その他	(件数)	12	-	-	6	-	1	-	2	-	1	-
	(死者)	6	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
歩行者	(件数)	11	-	-	6	-	-	-	2	-	-	-
	(死者)	5 037	52	10	1 967	271	83	20	1 466	3	569	1
単独事故	(件数)	72	3	-	13	4	14	-	11	-	4	-
	(死者)	5 344	58	11	2 077	287	73	21	1 549	4	596	1
歩行者	(件数)	5 638	74	13	2 075	303	46	15	1 500	6	581	-
	(死者)	122	2	-	48	4	8	-	42	-	7	-
歩行者	(件数)	5 793	80	13	2 101	307	39	16	1 525	6	593	-
	(死者)	1 514	364	3	556	73	8	3	182	1	52	-
歩行者	(件数)	89	-	-	44	4	3	-	14	-	3	-
	(死者)	2 205	434	5	963	123	10	3	283	1	69	-

資料 大阪府警察本部「交通事故統計」

第 6 表

歩行者の交通法規違反件数

前表頭注参照のこと。

年 次	総 数	法 規 違 反 別													
		信号無視	左側通行	交差点横断歩道横断	斜路横断	め前の横断	車の直後の横断	横断歩道の横断	禁止場所歩	幼児ひとり歩き	踏切不注意	めいはい	路上遊戯	路上作業	とび出し
昭和46年	3 699	237	2	40	18	663	123	51	42	58	57	2 340	7	50	
47年	3 899	268	4	64	19	648	145	54	45	45	74	11 2 462	8	52	
48年	3 514	293	3	50	13	605	150	41	36	59	61	6 2 139	5	53	
49年	3 295	339	7	55	15	507	120	20	31	51	55	8 2 046	8	33	
昭和50年	3 024	293	10	67	24	606	83	31	19	44	89	10 1 715	7	26	

資料 大阪府警察本部「警察統計書」

者別発生件数

当 事 者	第 一 当 事 者													
	二 輪				特 殊 車			路面電車	トロリーバス	その他の車両		歩行者	ひき逃げ不明	
	自動二輪	軽二輪	原付二種	原付一種	大型	小型	農耕作業用	列車	自転車	軽車両				
乗用車	495	140	615	774	11	11	-	4	-	1	1 434	8	3 295	860
	20	4	15	10	1	-	-	-	-	1	16	-	61	6
貨物車	713	180	722	857	10	11	-	4	-	-	1 520	9	3 353	976
	501	103	614	838	11	15	-	1	-	1	568	3	3 024	777
二輪	15	5	12	12	-	-	-	-	-	-	22	-	53	7
	707	125	711	933	12	15	-	2	-	1	653	5	3 036	870
特殊	120	25	121	190	4	1	-	-	-	-	781	-	1 486	139
	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-	27	-
路面電車	181	35	140	203	5	1	-	-	-	-	812	-	1 476	209
	61	16	83	118	3	-	-	-	-	-	547	1	1 223	39
トロリーバス	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	15	-
	85	20	90	125	3	-	-	-	-	-	572	1	1 226	48
その他の車両	28	3	30	32	-	2	-	-	-	-	142	-	283	81
	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
歩行者	53	3	51	62	-	2	-	-	-	-	171	-	311	86
	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
歩行者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
歩行者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
歩行者	85	18	105	151	2	3	-	-	-	-	1	27	-	30
	2	-	3	1	-	-	-	-	-	-	6	-	9	1
歩行者	117	20	124	177	2	3	-	-	-	-	1	26	-	21
	117	29	211	270	2	9	-	1	-	-	44	2	-	340
歩行者	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5
	144	32	235	296	2	9	-	2	-	-	45	4	-	344
歩行者	90	12	64	76	-	-	-	-	-	-	25	-	-	5
	5	-	6	8	-	-	-	-	-	-	2	-	-	7
歩行者	127	15	71	69	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-

第 7 表

海上事故発生件数

本表は水上警察署管内におけるもので、当署が探知したもののみである。

事 故 別	総 数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
海難事故	昭和47年	15	2	1	1	-	3	1	-	2	-	3	1
	48年	14	-	4	2	1	1	-	3	1	1	-	1
	49年	8	1	-	3	-	2	-	-	1	-	-	1
	昭和50年	7	1	-	1	-	-	-	2	-	-	1	1
衝突事故	昭和47年	6	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	1
	48年	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3
	49年	5	-	-	1	2	-	-	-	-	1	1	-
	昭和50年	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

資料 大阪水上警察署交通課調

第8表

市別建築物

本表は建築動態統計調査規則に基づくもので、災害については市町村長の報告、除却については工事施行者の届出によるものを集計しており、いずれも10㎡未満の事実は含まれていない。なお( )は木造以外の建築物である。

Table with columns for City (市), Total Area (延面積), Total Damage (損害見積額), Fire (火災), Wind/Water/Earthquake (風水震災), and Other (その他). Rows list various cities like 昭和49年, 大塚, 豊池, etc.

資料 建設省計画局「建築統計年報」

第9表

7 大都府県および近畿

本表は建築動態統計調査規則に基づくもので10㎡未満の事実は含まれていない。なお( )は木造以外の建築物である。

Table with columns for Prefecture (都府県), Total Area (延面積), Total Damage (損害見積額), Fire (火災), and Wind/Water/Earthquake (風水震災). Rows list prefectures like 昭和47年, 昭和49年, 東神福愛滋, etc.

資料 建設省計画局「建築統計年報」

物災害等

本表は建築動態統計調査規則に基づくもので、災害については市町村長の報告、除却については工事施行者の届出によるものを集計しており、いずれも10㎡未満の事実は含まれていない。なお( )は木造以外の建築物である。

Table with columns for Total Area (延面積), Total Damage (損害見積額), Residential (居住), Public/Educational (公務・文教), and Other (その他). Rows list various cities like 昭和49年, 大塚, 豊池, etc.

府県別建築物災害状況等

Table with columns for Prefecture (府県), Total Area (延面積), Total Damage (損害見積額), Fire (火災), Wind/Water/Earthquake (風水震災), and Public/Educational (公務・文教). Rows list various prefectures like 昭和47年, 昭和49年, etc.



第10表 労働災害死傷者数

本表は労働基準法施行規則様式第26号の1及び2の労働死傷者報告書によつた各年中の数字である。

産 業	総 数			死 亡			休 業 4 日 以 上		
	昭和48年	昭和49年	昭和50年	昭和48年	昭和49年	昭和50年	昭和48年	昭和49年	昭和50年
全 産 業	34 596	30 575	27 367	358	226	210	34 237	30 349	27 157
製 造 業	16 658	14 311	12 987	98	75	62	16 560	14 236	12 925
木材又は木製品製造業	967	858	777	7	4	3	960	854	774
パルプ又は紙製造業	712	886	485	3	7	8	709	879	477
化学工業	7 470	7 012	5 877	39	34	21	7 431	6 978	5 856
金属精錬業	2 406	2 085	1 717	7	6	6	2 399	2 079	1 711
一般機械器具製造業	447	401	325	2	1	5	445	400	320
電気機械器具製造業	998	1 005	746	15	8	7	983	997	739
輸送用機械器具製造業	3 658	2 064	3 060	25	15	12	3 633	2 049	3 048
他の製造業	61	30	28	1	3	1	60	27	27
土 石 採 取 業	8 380	7 113	6 321	171	96	79	8 209	7 017	6 242
建 設 業	2 559	449	362	26	4	4	2 533	445	358
交 通 運 輸 業	1 477	2 985	2 631	8	15	28	1 469	2 970	2 603
陸上貨物取扱業	1 843	1 652	1 355	20	6	6	1 823	1 646	1 349
港 湾 貨 物 取 扱 業	32	27	35	-	1	-	32	26	35
林 業	3 586	4 008	3 648	35	26	30	3 551	3 982	3 618
そ の 他									

資 料 大阪労働基準局安全課調

第11表 都道府県別、火災・交通事故件数、罹災世帯数

本表1) 人身事故件数である。

2) 台風、大雨、強風、高潮、地震、津波、大雪などの自然災害による被害状況である。

都道府県	1) 火災件数		2) 交通事故件数		都道府県	1) 火災件数		2) 交通事故件数		都道府県	1) 火災件数		2) 交通事故件数	
	(昭和49年中)	(昭和50年中)	(昭和49年中)	(昭和50年中)		(昭和49年中)	(昭和50年中)	(昭和49年中)	(昭和50年中)		(昭和49年中)	(昭和50年中)	(昭和49年中)	(昭和50年中)
全 国	67 712	472 938	40 153		富 山	374	4 194	226		島 根	512	2 546	211	
北 海 道	2 739	15 971	2 194		石 川	434	6 252	308		山 口	1 174	9 370	675	
青 森 県	811	5 806	492		福 井	358	3 909	234		徳 島	1 917	15 373	883	
岩 手 県	652	4 761	380		山 梨 県	457	4 306	183		香 川	1 228	8 118	568	
宮 城 県	1 045	6 684	562		長 野 県	914	8 733	576		高 松 県	596	5 613	266	
秋 田 県	553	3 581	387		岐 阜 県	1 480	7 124	505		愛 媛 県	770	5 929	321	
山 形 県	642	2 860	364		静 岡 県	2 277	16 797	895		高 知 県	774	6 575	523	
福 沢 県	1 194	8 813	618		愛 知 県	4 928	23 922	1 796		徳 島 県	544	4 077	292	
茨 城 県	1 596	11 515	638		三 重 県	1 144	6 961	395		香 川 県	2 167	27 167	1 541	
栃 木 県	1 236	9 530	518		滋 賀 県	504	4 161	252		福 岡 県	401	4 872	224	
群 馬 県	1 208	7 597	604		京 都 府	664	16 082	569		長 崎 県	798	5 870	465	
埼 玉 県	2 358	19 625	1 516		大 阪 府	5 348	31 630	4 217		熊 本 県	745	8 961	462	
千 葉 県	2 950	12 570	1 392		和 歌 山 県	3 517	26 474	2 150		大 分 県	625	5 961	292	
神 奈 川 県	8 496	35 337	6 681		鳥 取 県	290	3 309	199		高 松 県	481	3 912	321	
新 潟 県	3 093	21 331	2 119		島 根 県	406	6 678	260		徳 島 県	839	6 888	576	
	1 117	10 010	847		徳 島 県	354	3 204	228		香 川 県	1 001	1 969	228	

資 料 総理府統計局「日本統計年鑑」、府警本部交通部「交通事故統計」

